



防災ボランティア活動検討会 (2013. 3. 20)

支える人を、支えるしくみ。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ) の2年

社会福祉法人中央共同募金会 阿部陽一郎

1 共同募金会として東日本大震災の被災地支援

- (1) 「義援金」募集 (共同募金会扱いの義援金額: 約400億円)
- (2) 「支援金」①: ボラサポ (赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(新設))
- (3) 「支援金」②: 災害ボランティアセンターの活動支援 (災害等準備金による支援)
これまでに約100か所の災害VCに約8億円の活動費助成。
- (4) 「支援金」③: 災害ボランティアセンターの運営支援
 - ・ネットワーク組織である「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」(=当会が共同事務局)として、経団連、1%クラブの協力による企業寄付(約7億円)により、災害VCへのコーディネーター等人材の派遣(のべ約4000名)、災害VCと連携した活動を行うNPO・NGOへの活動費支援の実施。企業人ボランティア・バスのコーディネート(参加者は、のべ約3000名)等を実施。

2 「ボラサポ」の創設の経緯

共同募金会としての災害時のボランティア活動支援は、「災害等準備金」(赤い羽根募金の3%を各県で3年分ストック)で助成することとなっている。3月11日に発生した東日本大震災は、極めて甚大かつ広域に被害をもたらしたため、「災害等準備金」による助成は、災害ボランティアセンターおよび小規模な施設の復旧に重点を置くこととした(これまでに約100か所の災害VCに約7億円の助成)。

そこで、中央共同募金会では、災害ボランティア・NPO活動への支援のための寄付金募集を実施することとし、厚生労働省・財務省はじめ政府の全面的な協力で立ち上げた。

- ・2011年3月15日: 特定震災指定寄付金として財務大臣告示により募金開始(税額控除)
- ・3月31日: 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」の名称決定
- ・4月14日: 第1次応募受付(5月23日に: 第1次助成決定)
- ・8月10日: ホームページからの応募受付開始、Facebook公式ページ開始

3 募金状況 40億442万8109円(2013年3月8日現在)

4 助成方針

ボランティアやNPOと被災地の人々が協力しあい、つながりをはぐくみ、コミュニティの再興に向けた市民の力を高めることを助成方針とし、5名以上のボランティア団体からNPO法人まで幅広く助成対象としている。

具体的には、次の3つのプログラム助成で長期に支える

- (1) 緊急救援(スピード感のある支援)

- (2) 生活支援（NPOによる専門性の高い活動への支援）
- (3) 復興支援・コミュニティ活動（地元市民主体の活動支援）

併せて、第1回助成応募時点から、

- (4) 実施済みの事業であっても「さかのぼり」の応募を可能とした（第10次応募まで）
- (5) 人件費への助成を可能とした（日本ボランティアコーディネーター協会のボランティアコーディネーター検定制度がヒント）

5 特色

(1) 循環の仕組みづくりが目標

被災者と被災者を支える活動団体と寄付者の間に、寄付と助成を通じて循環の仕組みづくりを目指す

- ・ボラサポサロン（6回開催）、Facebook公式ページ
- ・多様な情報の発信

(2) 開かれた場での方針づくり

助成を決定する配分委員会ならびに全般的な企画・運営を中央共募に助言する運営委員会を開催し、運営を行っており、こうした委員会委員として、企業、NPO・NGO関係者等に参画してもらっている（委員名簿も公表）

(3) 情報公開

- ①毎回の助成決定時に「配分委員会決定コメント」を公表
- ②助成決定団体名の公表（団体の所在地、活動地、活動内容）
- ③ホームページで、活動終了事業を個々の事業ごとに紹介

(4) 助成

・多数の草の根団体に助成

6 ボラサポの助成状況（別紙）

7 震災から2年間の主な資金ニーズの特徴（過去9回の「助成決定にあたって」を参照）

【第1次】

今後は、命を支える緊急救援の活動から、徐々に生活支援活動が増えてくるであろうと予想

【第2次】

1. ボランティアやスタッフの食費は助成対象としない
2. 被災者への物資配布だけを目的とした活動には助成しない
3. ボランティアバス実施の応募の場合は、参加費を最低限度取ってほしい。併せて、その上限額の一定割合を限度にボランティアの新幹線・航空料金等、交通費の一部を助成対象とする是非の検討を行う。

【第3次】

1. 応急仮設住宅等に引っ越しされる時期のニーズ対応の活動、生活支援への取り組みの応募がある一方、地域によっては、炊き出しなどの緊急救援の活動が見受けられ、今回の災害の甚大さや被災地がおかれている状況が応募内容から如実に伝わってきた。
2. 地元の要請があって、地域ニーズにマッチングした専門的な活動であれば、今後、専門的活動内容を評価したうえで、専門家による社会貢献活動を積極的に支援

【第4次】

1. 被災者へのメンタル・ケア、地域内における交流を目的とした場所づくり等、支援による成果が見えにくく、その成果に対する定量的な評価が難しいと考えられる取組み
2. 被災地内の交通手段の確保、子育て支援等の生活支援等、環境の変化にともない新たに生じているニーズに応える取組み、あるいは掘り起こしのための調査・研究活動
3. 人間としての尊厳の回復を可能とする自立に向けた「仕事づくり」につながる活動
4. ボランティア参加者におけるボランティアバス以外（高速バス・新幹線等）の交通費・宿泊費への一部助成の際の考え方

- ア. ボランティア活動は、自発性に基づく活動が原則であり、交通費等は、本来は自己負担が原則であるとの考え方に変更はありません。
- イ. しかし、以下の点から当該経費の全額を助成するのではなく、組織として必要となる最低限度の経費の一部を助成していく方針とします。
- 1) 現地では生活支援活動等少人数であっても継続的な活動が期待されていること
 - 2) 大学生等若い世代のボランティア活動の促進を図り、次世代の人材育成への一助としていきたい
- ウ. したがって、ボランティア個人々人への交通費等の助成ではなく、あくまでも組織（応募団体・グループ）に対して、一部費用の助成とします。

【第5次】

1. 避難先における活動も含め、被災した当事者の方が自身が立ち上がり、たとえば仮設住宅地域におけるサロン開設など、新しく暮らす場となった地域で新たなコミュニティづくりに立ち向かう活動や、もともとの暮らしの場であったコミュニティの再興に向けた活動
2. 子育て支援、児童・生徒の学習支援、専門職によるカウンセリング、復興に向けた市民参加型のまちづくり計画策定など、テーマ型の活動
3. 県外避難者へのもてなしや避難者同士の交流促進などの活動

【第6次】

1. 被災した当事者の方が自身で立ち上がり、たとえば仮設住宅地域におけるサロン開設など、新しく暮らす場となった地域で新たなコミュニティづくりに立ち向かう活動や、もともとの暮らしの場であったコミュニティの再興に向けた活動も動き出しています。いずれも時間の経過とともに新たに出てきた課題に対して関係者がつながり合って、知恵や企画を出し合い、活動の創出にあたってきたことが応募書から推察
2. 3県、特に福島県から全国各地に避難している6万人を超える方たちに対する活動が増えています。第5次までに100件以上の応募がありましたが、第6次ではその割合が増えているように感じました。また、主に子どもたちを対象にした保養プログラムなど、県外の子どもたちとの交流事業も多い。

【第7次】

1. 震災から1年が経過。炊き出しや避難所支援、物資支援など震災直後の緊急救援的なニーズから、最近では、応募内容も新たな段階に進んでいる様子が伺える。被災地では、市町村で、あるいは県内で、多様な団体により重層的なネットワークづくりが進んでいる。いずれも時間の経過とともに新たに出てきた課題に対して関係者がつながり合って、知恵や企画を出し合い、活動の創出にあたってきたことが推察される。
2. 現地の活動団体へのヒアリングを行った結果、手持ち資金に余裕がないと、安心して活動を始めづらい。助成決定時にある程度資金があるようにしてほしい、といった声や長期の活動を安定的に行うためには、一定程度の資金の見通しがほしい。そのため、複数年での助成のしくみがあるとよい、といった意見が寄せられた。

そこで、第7次応募（2012年3月から応募受付）から、以下のとおり助成プログラムを変更した。

- (1) 短期活動：50万円以内（現行と同様）
- (2) 中長期活動：300万円以内（現行と同様）
 - ①応募額が100万円以内で、一定条件を満たす団体には全額の一括送金を可能とした（新規）
 - ②一定条件を満たす団体には、1000万円までの応募を可能とした（新規）
- (3) 地域密着の助成プログラムの開始（新規）
 - ①また、5月からは新たな助成プログラムとして、地元住民による助けあい活動を支えるため、1回10万円（同じ団体は年2回まで応募可）の助成を開始。
 - ②岩手・宮城・福島の3県共同募金会に募集、助成審査等を委託し、より地域密着で迅速な助成を開始（とくに、岩手県、宮城県では、市町村共同募金委員会が応募受付等の窓口となる）。
 - ③2012年度は、3県それぞれに各1億円の助成枠を準備。3県では、年間6回の応募受付と助成決定を行う予定

- 併せて、現行の平成 25（2013）年 3 月までの助成期間を、平成 27（2015）年 3 月まで 2 年間延長し、息の長い支援活動に取り組むこととした。

【第 8 次】

- 応募件数、応募金額いずれも過去最高となり、震災から 1 年を過ぎてもなおこうした活動が必要とされている状況や、他の助成金が徐々に少なくなる中で年間に複数回の応募機会があるボラサポに対して期待が寄せられていること
- 広域に避難している人たちを全国で支える活動についての応募も引き続き多くある。一時的なサポートではなく、避難した先で同じ住民として関わり就労につながるような支援をしている団体の活動も見受けられた。
- 助成財源の状況を鑑み、優先順位を意識した審査に移行。継続的に助成している案件については、今後は必要性があったとしても地元の団体に引き継ぐような取り組みが見られない場合には助成を見送る

【第 9 次】

- 必須書類の添付がない、要件を満たさないなどの「要件不備」案件が多数あり
- 広域に避難している人たちを全国で支える活動についての応募も引き続き多く見られます。避難先の行政や社会福祉協議会等ともうまく連携を取りながら、避難した先で同じ住民として関わろうとする団体の活動も見受けられました。
- 最近の傾向ですが、応募書を変更してより詳細な記載を求めたこともあって、応募してきた活動内容の具体性に欠ける案件がありました。第 10 次からはさらに団体の取り組みについて詳しく記載いただく欄を設けました。活動している内容だけではなく、被災した人が主体的に参加できるための取り組みや他の財源を得る見通し、活動により見込まれる効果などです。日頃の活動について十分お伝えいただけるよう、時間をかけての記載をお願いしたい



支える人を支える

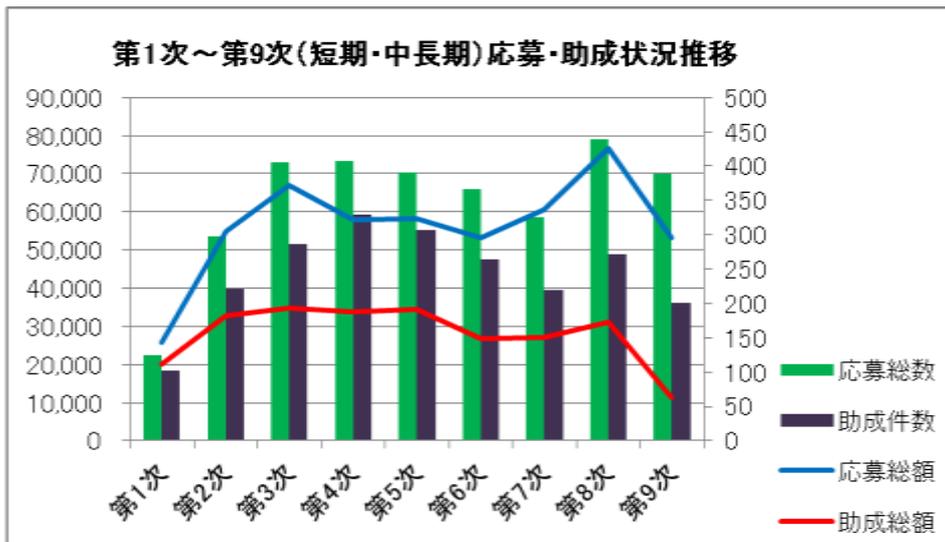
赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」2 年間のご報告

2013.03

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)への 2 年間のご協力、誠にありがとうございました。ボラサポは 2011 年 3 月の発災当初から、多くの方のご寄付に支えられ被災した人を支える多くの活動を助成してきました。現在も復興に向けた活動が被災 3 県、そして全国で日々続けられています。ここに 2 年間のご報告を申し上げるとともに、この間のご協力に深く感謝申し上げます。

中央共同募金会

- ボラサポへの**寄付総額** **40 億 145 万 3927 円** (2013.03.01 現在)
- ボラサポとしての**助成総額** **28 億 2093 万円** (2012.12 月現在)
- ボラサポとしての**助成団体数** **2197 団体** (第 1～第 9 次累計・のべ)
- ボラサポの助成を受けて活動した**人数** **520 万人** (概数。参考:阪神淡路大震災ボランティア 約 216 万人)



今も必要とされる支援

- ・ 応募件数は震災から 1 年半を経過した第 8 次で最大となりました。支える活動は、まだまだ必要とされています。

助成額の減少

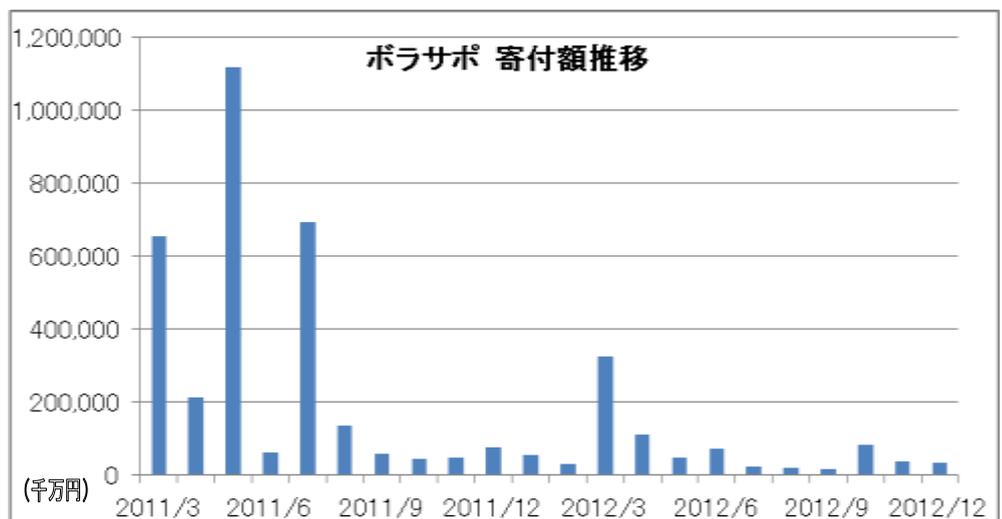
- ・ 寄付残額の減少に伴い、第 9 次では助成額が少なくなりました。第 10 次以降は助成額に上限を設け、残りの 2 年間で継続していきます。

今なお続けられる寄付

- ・ ボラサポへのご寄付は、今もほぼ毎日寄せられています。多くは個人の方ですが、企業・団体の方からもたくさんのご協力をいただいています。

震災の風化と寄付額の減少

- ・ 一方、発災当時と比べると寄付額の減少は明らかです。ボラサポからも被災地の様子を継続的に発信していきます。

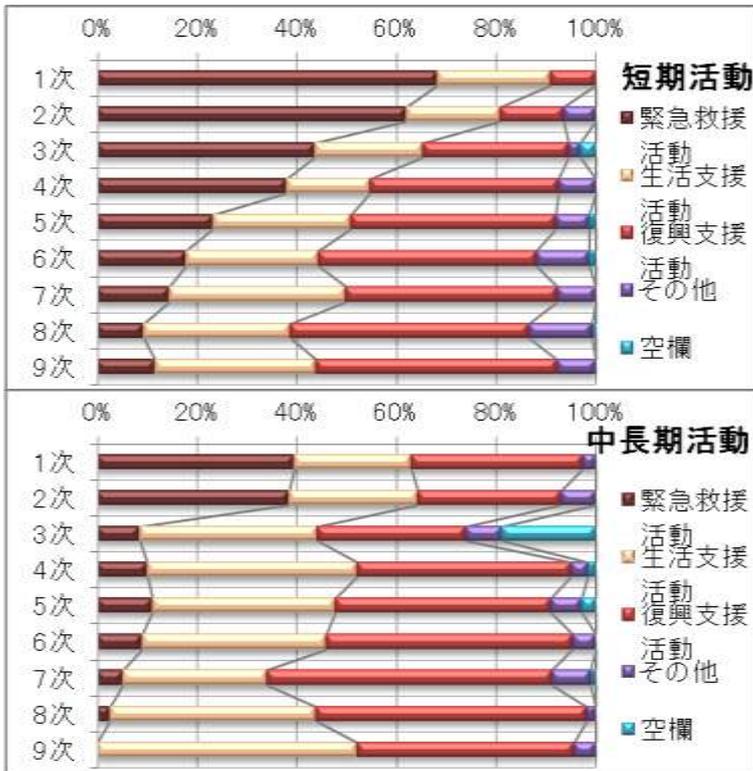


■ 1年目の受付回数・助成金額

年間 **6** 回・**18** 億 **2811** 万円

■ 2年目の受付回数・助成金額

年間 **4** 回・**6** 億 **9282** 万円 + α (現在審査中)



プログラム種別応募推移

短期活動(30日以内)
中長期活動(30日以上)

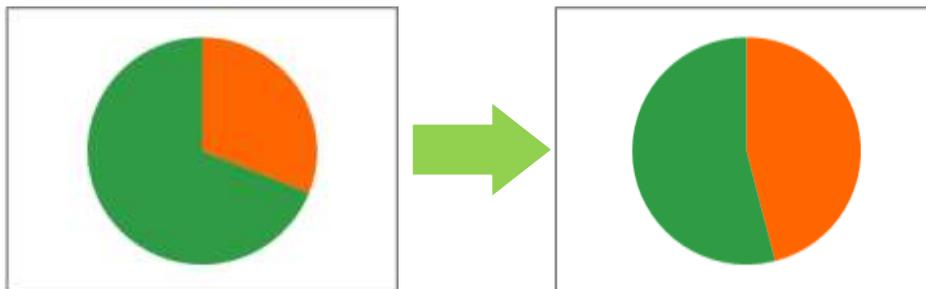
タイムリーな助成

- ・ 1年目は2か月に1回、2年目は3か月に1回のペースで助成応募を受け付け、決定を行ってきました。

表れるニーズの変化

- ・ 早い頻度で助成を行ったことにより、被災地のニーズが刻々と変化していること、それに対応する形で活動が行われていることがグラフに表れました。

地元団体の応募割合推移



増える地元団体の応募

岩手・宮城・福島所在団体割合(オレンジ)

・ 1~9次中長期(左側) : 31% ・ 10次中長期(右側) : 46%

被災した人のやる気を応援する「支援金」

- ・ 義援金は被災した人の生活を支えます。支援金であるボラサポは、被災した人たちがもう一度立ち上がろうとする気持ちを応援するお金です。

助成を4年間続ける、ということ

- ・ 「義援金とはとにかく早く配ることが求められます。支援金は被災した人たち自身が立ち上がることができるので、早く配り切らないことも、大切です」(日本 NPO センター代表理事 早瀬さん)

(資料4)

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成状況

募金額(目標額:50億円):39億8115万4284円(2013年2月22日現在)

※ 寄付募集期間:2011年3月11日～2013年3月31日(予定)

	全体状況					短期活動					中長期活動					中長期活動					
	応募		助成決定			応募		助成決定			応募		助成決定			応募		助成決定			
	件		件		採択率	件		件		採択率	件		件		採択率	件		件		採択率	
第1回	125	2億5,596万円	102	2億0,142万円	82%	23	767万円	22	466万円	96%	102	2億4,829万円	80	1億9,676万円	78%	-	-	-	-	-	-
第2回	297	5億5,065万円	222	3億2,946万円	75%	95	2,523万円	79	1,580万円	83%	202	5億2,542万円	143	3億1,366万円	71%	-	-	-	-	-	-
第3回	405	6億6,900万円	286	3億4,791万円	71%	158	4,727万円	133	3,311万円	84%	247	6億2,173万円	153	3億1,480万円	62%	-	-	-	-	-	-
第4回	408	5億7,891万円	329	3億3,866万円	81%	214	6,396万円	189	4,843万円	88%	194	5億1,495万円	140	2億9,023万円	72%	-	-	-	-	-	-
第5回	365	5億2,127万円	307	3億4,324万円	84%	181	5,830万円	163	4,239万円	90%	184	4億6,297万円	144	3億0,085万円	78%	-	-	-	-	-	-
第6回	367	5億3,144万円	262	2億6,742万円	71%	182	5,720万円	151	3,935万円	83%	185	4億7,424万円	111	2億2,807万円	60%	-	-	-	-	-	-
第7回	325	6億0,697万円	218	2億6,679万円	67%	129	4,181万円	104	2,606万円	81%	189	4億9,832万円	112	2億2,558万円	59%	7	6,684万円	2	1,515万円	29%	
第8回	439	7億6,775万円	270	3億1,096万円	62%	183	5,924万円	150	3,706万円	82%	246	6億1,006万円	115	2億3,157万円	47%	10	9,845万円	5	4,233万円	50%	
第9回	385	5億0,689万円	201	1億1,507万円	52%	207	7,091万円	155	3,905万円	75%	176	4億1,598万円	46	億7,602万円	26%	2	2,000万円	0	万円	0%	
支え合い				3億0,000万円																	
計	3,116	49億8,884万円	2,197	28億2,093万円	71%	1,372	4億3,159万円	1,146	2億8,591万円	84%	1,725	43億7,196万円	1,044	21億7,754万円	61%	19	18,529万円	7	5,748万円	37%	

- 第1回(応募期間:2011年4月14日～4月30日 助成決定2011年5月27日)
- 第2回(応募期間:2011年5月9日～6月10日 助成決定2011年7月15日)
- 第3回(応募期間:2011年6月20日～7月31日 助成決定2011年9月8日)
- 第4回(応募期間:2011年8月10日～9月30日 助成決定2011年11月10日)
- 第5回(応募期間:2011年10月10日～11月30日 助成決定2012年1月27日)
- 第6回(応募期間:2011年12月10日～2012年1月30日 助成決定2012年3月28日)
- 第7回(応募期間:2012年3月1日～3月30日 助成決定2012年6月20日)
- 第8回(応募期間:2012年6月1日～6月29日 助成決定2012年9月13日)
- 第9回(応募期間:2012年9月1日～9月28日 助成決定2012年12月13日)
- 第10回(応募期間:2012年12月25日～2013年1月25日 助成決定2013年4月中旬予定)